

第2編

第1部

X I 基礎統計資料

62 人口と世帯数の現況

[平成元年の人口]

平成元年10月1日現在の推計によれば、我が国の総人口は1億2,325万人で、昭和63年10月から平成元年9月までの1年間に47万人増加したが、対前年増加率は戦後最低の3.8%となった。

人口の年齢構造の変化を人口ピラミッドに表すと、右のとおりであり、各時代の社会情勢の影響を受けた出生と死亡の変動が明らかに刻まれている。

戦後の昭和22年から24年の第1次ベビーブーム期と、昭和46年から49年の第2次ベビーブーム期の2つのふくらみが特徴的であり、その後の出生数の減少でピラミッドのすそは年々狭まっている。







[増加する高齢者世帯]

我が国の平成元年の総世帯数は、3,941万7千世帯で、このうち65歳以上の者のいる世帯は1,077万4千世帯となっており、全体の27.3%をしめている。また、高齢者世帯も増加しており、平成元年には415万3千世帯となり、初めて全体の1割を超えた。

[人口動態]

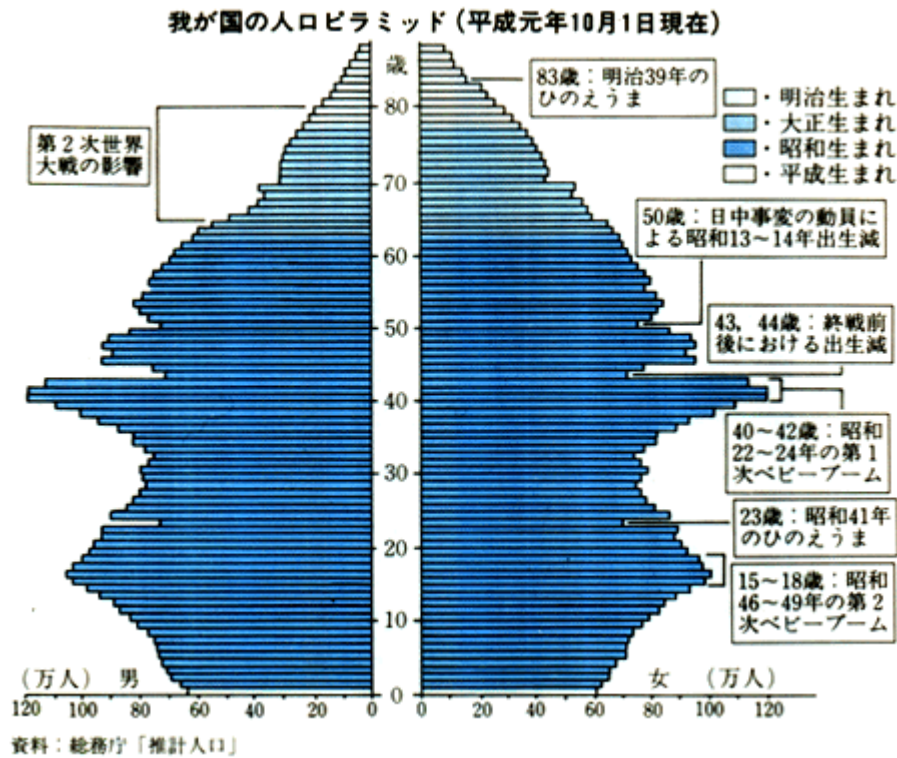
[人口動態]

(平成元年)

出生	死亡	乳児死亡	死産	婚姻	離婚
					
1,246,802人 25秒に1人	788,594人 40秒に1人	5,724人 91分49秒に1人	55,204胎 9分31秒に1胎	708,316組 45秒に1組	157,811組 3分20秒に1組

資料：厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計」

我が国の人口ピラミッド(平成元年10月1日現在)



総世帯数と高齢者世帯数の年次推移

総世帯数と高齢者世帯数の年次推移

年次	総世帯			高齢者世帯		$\frac{(B)}{(A)} \times 100$
	推計数 千世帯(A)	指数 40年=100	平均世帯 人員(人)	推計数 千世帯(B)	指数 40年=100	
昭和28年	17,180	66	5.00	431	54	2.5
30	18,963	73	4.68	425	53	2.2
35	22,476	87	4.13	500	63	2.2
40	25,940	100	3.75	799	100	3.1
45	29,887	115	3.45	1,196	150	4.0
50	32,877	127	3.35	1,619	203	4.9
55	35,338	136	3.28	2,424	303	6.9
60	37,226	144	3.22	3,110	389	8.4
62	38,064	147	3.19	3,471	434	9.1
63	39,028	150	3.12	3,731	467	9.6
平成元	39,417	152	3.10	4,153	520	10.5

(注) 高齢者世帯とは、男65歳以上、女60歳以上の者のみで構成するか、又は、これに18歳未満の者が加わった世帯をいう。

資料：厚生省大臣官房統計情報部、昭和60年以前は「厚生行政基礎調査」、61年以降は「国民生活基礎調査」

第2編

第1部

X I 基礎統計資料

63 高齢化・長寿化の現況

[65歳以上人口と高齢化率]

平成元年10月1日現在,65歳以上の人口(老年人口)は1,431万人であり,総人口に占める割合は11.6%と,昭和24年以降上昇を続けている。今後,老年人口は急速に上昇を続け,平成33年(2021年)には23.6%のピークに達すると予測されている。

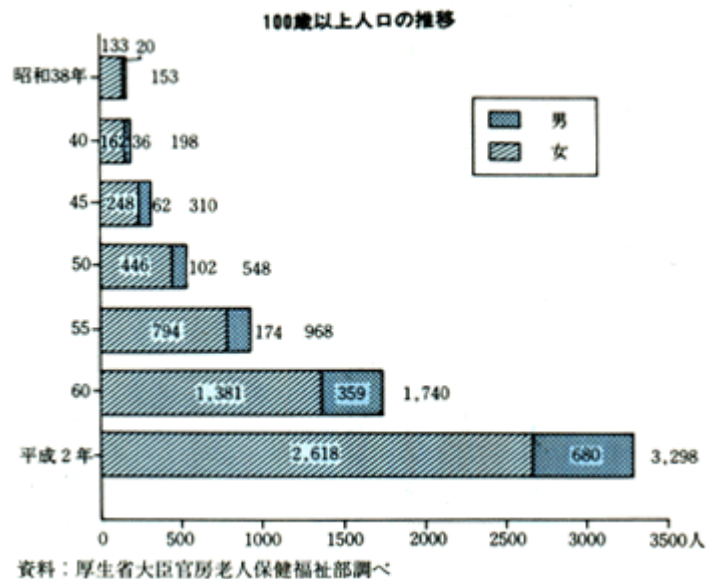
[平均寿命]

高齢化が進んだ要因として,平均寿命が大幅に延びたことと出生率が低下したことがあげられる。寿命については,昭和22年に男子50.06歳,女子53.96歳であったものが平成元年では男子75.91歳,女子81.77歳と大幅に延びている。

[100歳以上の老人数]

高齢化につれ100歳以上の老人の数も年々増加しており,平成2年では3,298人に達している。

100歳以上人口の推移



高齢人口の推移

(単位：千人，%)

高齢人口の推移

年次	人 口			総人口比	
	総数	65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上
昭和35(1960)年	94,302	5,398	1,642	5.7	1.7
40(1965)	99,209	6,236	1,894	6.3	1.9
50(1975)	111,940	8,865	2,841	7.9	2.5
60(1985)	121,049	12,468	4,712	10.3	3.9
平成元(1989)	123,255	14,309	5,747	11.6	4.7
2(1990)	124,224	14,819	5,917	11.9	4.8
12(2000)	131,192	21,338	8,452	16.3	6.4
22(2010)	135,823	27,104	12,456	20.04	9.2
32(2020)	135,304	31,880	15,313	23.56	11.3
33(2021)	135,160	31,866	15,239	23.58	11.3
37(2025)	134,642	31,465	17,367	23.4	12.9

資料：平成元年までは総務庁統計局「国勢調査」及び「推計人口」、平成2年以降は厚生省人口問題研究所「日本の将来推計人口(昭和61年12月推計)」

平均余命の推移

平均余命の推移

年次	平均寿命 (0歳平均余命)		65歳平均余命	
	男	女	男	女
明治24～31年	42.80	44.30	10.20	11.40
大正10～14	42.06	43.20	9.31	11.10
昭和10～11	46.92	49.63	9.89	11.88
22	50.06	53.96	10.16	12.22
25～27	59.57	62.97	11.35	13.36
30	63.60	67.75	11.82	14.13
40	67.74	72.92	11.88	14.56
50	71.73	76.89	13.72	16.56
60	74.84	80.46	15.54	18.91
平成元	75.91	81.77	16.22	19.95

資料：厚生省大臣官房統計情報部「平成元年簡易生命表」

第2編

第1部

X I 基礎統計資料

64 厚生省予算及び社会保障給付費

[増大する社会保障給付費]

社会保障給付費とは、公的に行われる医療・年金・福祉・労災・雇用保険

等の社会保障制度の給付の総額をILO(国際労働機関)の定めた国際比較のための基準に基づいて計算したものである。

我が国の社会保障給付費は、高齢化の進行に伴い増加し、昭和62年には初めて40兆円を超え、昭和63年は42兆2,777億円となっている。国民1人当たりでは34万4,300円、1世帯当たりでは、107万4,900円と、100万円を超える給付がなされている。

社会保障給付費のうち、年金の占める割合も増大しており、昭和63年には21兆2,107億円と初めて全体の5割を超えた。

部門別社会保障給付費の前年度との比較

部門別社会保障給付費の前年度との比較

	昭和62年度	63	対前年度比	
			増加額	伸び率
計	406,546 (100.0)	422,777 (100.0)	16,231	4.0
医療	158,573 (39.0)	165,303 (39.1)	6,730	4.2
年金	201,331 (49.5)	212,107 (50.2)	10,776	5.4
その他	46,643 (11.5)	45,367 (10.7)	△ 1,275	△ 2.7

(注) ()内は構成割合である。

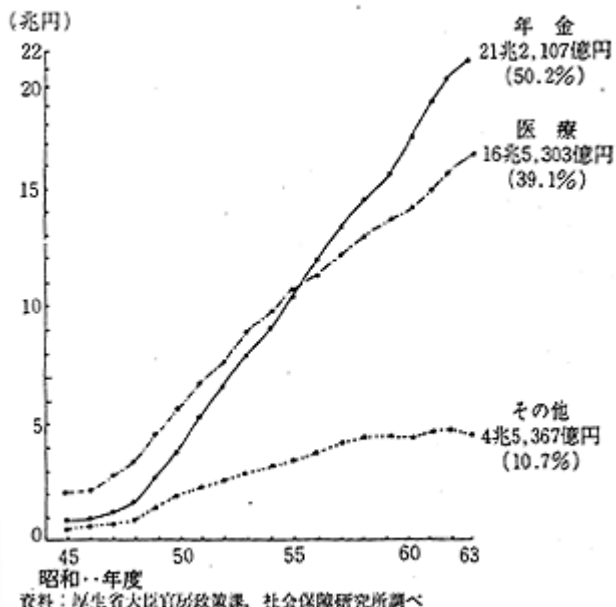
資料：社会保障研究所調べ

[平成2年度の厚生省予算]

平成2年度の厚生省予算は、11兆5,652億円であり、一般歳出の32.7%を占めている。また、昭和57年度以来、おおむね対前年度2%台の伸びを続けてきたが、平成2年度は6.7%と元年度の5.0%を上回る高い伸び率になっている。

社会保障給付費の部門別年次推移

社会保障給付費の部門別年次推移



社会保障関係費の推移

社会保障関係費の推移

(単位：億円，%)

区分	昭和40年度	45	50	60	61	62	63	平成元	2
生 活 保 護 費	1,059 (20.4)	2,172 (19.0)	5,348 (13.6)	10,816 (11.3)	11,101 (11.3)	11,147 (11.0)	10,897 (10.5)	11,416 (10.5)	11,087 (9.5)
社 会 福 祉 費	433 (8.4)	1,114 (9.8)	6,178 (15.7)	20,042 (20.9)	19,002 (19.3)	20,158 (20.0)	20,827 (20.1)	22,309 (20.5)	24,056 (20.7)
社 会 保 険 費	2,095 (40.4)	5,874 (51.5)	23,277 (59.3)	56,584 (59.1)	59,640 (60.6)	60,974 (60.4)	63,450 (61.1)	66,412 (61.0)	71,947 (61.9)
保 健 衛 生 対 策 費	930 (17.9)	1,406 (12.3)	2,738 (7.0)	4,621 (5.0)	4,961 (5.0)	5,007 (5.0)	5,071 (4.9)	5,269 (4.8)	5,587 (4.8)
失 業 対 策 費	667 (12.9)	847 (7.4)	1,741 (4.4)	3,674 (3.8)	3,642 (3.7)	3,610 (3.6)	3,600 (3.5)	3,541 (3.3)	3,471 (3.0)
社 会 保 障 関 係 費	5,184 (100.0)	11,413 (100.0)	39,282 (100.0)	95,737 (100.0)	98,346 (100.0)	100,896 (100.0)	103,845 (100.0)	108,947 (100.0)	116,148 (100.0)
厚 生 省 予 算	4,787 (20.7)	11,035 (22.1)	39,067 (36.2)	95,028 (2.7)	97,721 (2.8)	100,265 (2.6)	103,211 (2.9)	108,372 (5.0)	115,652 (6.7)
一 般 歳 出	29,199 (12.8)	59,960 (16.9)	158,408 (23.2)	325,854 (△0.0)	325,842 (△0.0)	325,834 (△0.0)	329,821 (1.2)	340,805 (3.3)	353,731 (3.8)

(注) 1. ()内は構成比。ただし、厚生省予算及び一般歳出欄は対前年伸び率。
 2. 社会保険費には、福祉年金及び児童手当に要する費用が含まれ、労災保険に要する費用は含まれていない。また、雇用保険に要する費用は失業対策費に含まれている。
 資料：厚生省大臣官房会計課調べ

第2編

第1部

X I 基礎統計資料

65 健康指標

[疾病構造の変化]

我が国の死因別死亡割合をみると、昭和25年当時は結核、脳血管疾患、肺炎・気管支炎の順であったのに対して、平成元年では悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順に高くなっている。

また、受療率(人口10万人に対する1日当たりの患者数)でも、結核の減少と悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの成人病の増加が目立っている。

[健康状態]

国民の健康状態をみると、

- ・「自覚症状のある者」は3,354万8千人(人口千人に対する割合は274.3)
- ・「通院者」は3,087万4千人(同252.4)
- ・「健康上め問題で日常生活に影響のある者(6歳以上)」は1,004万8千人(同88.0)

となっている。(平成元年国民生活基礎調査)

[栄養摂取の状況]

栄養素等の摂取の充足率をみると、カルシウムについては所要量を下回っているが、他の栄養素についてはおおむね栄養所要量を充足している。

栄養素等摂取量と調査対象の平均栄養所要量との比較

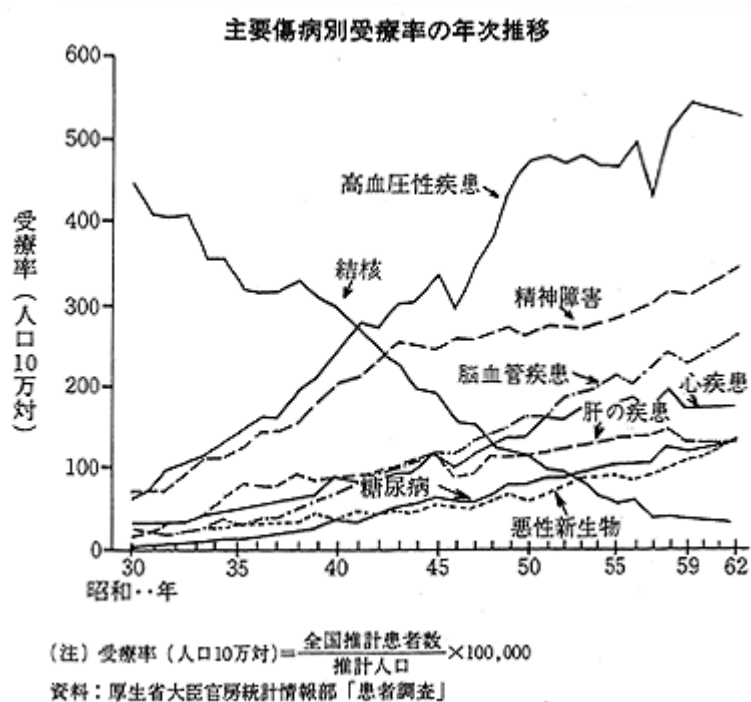
栄養素等摂取量と調査対象の平均栄養所要量との比較
(調査対象の平均栄養所要量=100)

	昭和50年	55	60	63
エネルギー	110	107	106	102
たん白質	123	121	121	119
カルシウム	91	90	92	87
鉄	126	122	101	104
ビタミンA	92	90	124	146
ビタミンB ₁	139	147	168	157
ビタミンB ₂	93	94	115	118
ビタミンC	244	218	263	236

(注) 調査対象の平均栄養所要量は、調査客体の年齢・性・生活活動強度等にしかた、**「日本人の栄養所要量」**より算出したものである。

資料：厚生省保健医療局「国民栄養調査」

主要傷病別受療率の年次推移



主要死因別死亡率(人口10万対)の年次推移

主要死因別死亡率(人口10万対)の年次推移

死 因 名	昭和25年	30	35	40	45	50	55	60	平成元
悪 性 新 生 物	77.4	87.1	100.4	108.4	116.3	122.6	139.1	156.1	173.6
心 疾 患	64.2	60.9	73.2	77.0	86.7	89.2	106.2	117.3	128.1
脳 血 管 疾 患	127.1	136.1	160.7	175.8	175.8	156.7	139.5	112.2	98.5
肺炎及び気管支炎	93.2	48.3	49.3	37.3	34.1	33.7	33.7	42.7	52.7
不慮の事故及び有害作用	39.5	37.3	41.7	40.9	42.5	30.3	25.1	24.6	25.4
自殺	19.6	25.2	21.6	14.7	15.3	18.0	17.7	19.4	17.3
慢性肝疾患及び肝硬変	6.8	8.6	9.7	10.0	12.5	13.6	14.2	14.3	13.6
結核	146.4	52.3	34.2	22.8	15.4	9.5	5.5	3.9	2.9

資料: 厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計」